

授業計画（シラバス）

■科 目	<b>生理学・口腔生理学</b>			■講師名	田村 宗明
Ⅱ部1学年	中期・後期	20コマ（1コマ90分授業）	総時間 40時間	講義 2単位	
<p>■学修概要： 我々の身体は日々生命活動を営んでいる。生理学は、生命現象の仕組みを自然科学の方法を用いて解明する科学であり、生命現象の仕組みを明らかにするだけでなく、その合目的性を明らかにすることを目標としている。口腔は消化器の入り口として、また呼吸器官、発語器官、感覚器官として多面的な働きをしている。この口腔の健康を保つための諸機能について、そのメカニズムを理解するために口腔生理学で口腔機能の情報伝達等について学ぶ。</p>					
<p>■授業目的、到達目標： 生理学の授業では、生体の個々の器官の機能を明らかにするとともに、器官相互の調和のとれた機能が維持されている機構について理解する。口腔生理学は口腔領域に特化した生理学であり、口腔感覚は情報の取得機構であり、取得した情報に対する出力は顎運動・舌運動などであることを理解する。</p>					
<p>■授業方法 講 義</p>					
<p>■教科書（書籍名・著者・出版社）            歯科衛生学シリーズ／解剖学・組織発生学・生理学 医歯薬出版            歯科衛生学シリーズ／口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 医歯薬出版</p>					
<p>■成績評価・講義上の注意            定期試験(60%)，平常試験(30%)，および受講態度(10%)により総合的に評価する。</p>					
<p>■実務経験： これまで 30 年間以上にわたり日本大学歯学部および日本大学歯学部附属歯科衛生士学校で研究と学生教育を行ってきた。また、本校では生理学・口腔生理学の他、微生物学・口腔微生物学や歯科英語の講義経験を有する。これらを通して歯科衛生士の立場から生理学および口腔生理学について、本教科で学ぶ内容がいかに歯科臨床の現場で活かされるかを感じ取れる場を提供したいと考えている。</p>					
<p>■授業計画（講義の流れ）</p>					
1	生理学総論，細胞の基本的生理機能（8/6）				
2	運動Ⅰ 筋の構造と機能（8/6）				
3	運動Ⅱ 運動ニューロン，筋電図（8/20）				
4	循環Ⅰ 血管の構造と機能，体循環と肺循環（8/20）				
5	循環Ⅱ 血液の成分と機能（8/27）				
6	循環Ⅲ 心臓と心電図，循環系，リンパ系（8/27）				
7	情報伝達Ⅰ 総論，中枢神経系（9/3）				
8	情報伝達Ⅱ 末梢神経系（9/3）				
9	呼吸，消化吸収（9/10）				
10	排泄，まとめ（9/10）				
11	平常試験，解答解説（9/17）				
12	体温，内分泌（9/24）				
13	体性感覚，臓器感覚，特殊感覚（10/1）				
14	痛覚の特徴，分類・軸索反射・発痛物質（10/8）				

## 授業計画（シラバス）

15	口腔の感覚，味覚（10/15）
16	咬合と咀嚼，吸引（吸啜），嚥下，嘔吐，口呼吸（10/22）
17	唾液腺の構造，分泌機構，支配神経（10/29）
18	唾液の性状，成分，働き，口渇に関する疾患（11/5）
19	発声，発音，嗅覚，まとめ（11/12）
20	定期試験、解答解説（11/19）